

発議第1号

協議テーマに係る意見書の提出について（少子高齢化対策委員会）

意見書を次のとおり提出するものとする。

令和2年1月25日提出

少子高齢化対策委員会

委員長 横尾カヤン

大 仲 柊 史

加 藤 廉 彪

久 保 湧 哉

汲 川 紗 凡

國 分 里 帆

後 藤 謙 太

中 川 栞 那

原 田 航 希

山 智 行

## 意見書（少子高齢化対策委員会）

当委員会の所管事項に関し、高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

### 記

1. 高齢者の健康寿命を延ばし、社会保障関係費の増大を抑制するため、運動することの大切さについて広報するとともに、高齢者にとって住みよいまちとなるようバリアフリー化を進めること。
2. 待機児童の解消や子供の豊かな感性の醸成、高齢者の活力維持のため、保育施設と高齢者の介護施設が一体となった「幼老複合施設」の設置や高齢者による臨時の保育事業の創出などについて検討すること。
3. 子育て環境、医療・介護施設、公共交通機関等の充実やシティプロモーションによって市の人口を増加させ、結果的に増える税収をもとに少子高齢化対策を手厚くすること。

以上、意見書を提出します。

令和2年1月25日

四日市市議会高校生議会

四日市市議会宛